

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【公表番号】特表 2014-530399 (P2014-530399A)  
 【公表日】平成 26 年 11 月 17 日 (2014.11.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-063  
 【出願番号】特願 2014-529794 (P2014-529794)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 21/24 1 6 4

G 0 6 F 12/00 5 3 7 A

G 0 6 F 9/06 6 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 8 月 7 日 (2015.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピューティングデバイスにおける方法であって、  
 前記コンピューティングデバイスにアプリケーションをインストールするステップと、  
 前記アプリケーションに関連づけられたアプリケーションマニフェストを受け取るステップであって、前記アプリケーションマニフェストは、前記アプリケーションがアクセスを許可される 1 つ以上のファイルタイプを示す、ステップと、

ブローカーサービスによってアクセス可能な場所に前記 1 つ以上のファイルタイプを記録するステップであって、前記ブローカーサービスは、前記アプリケーションによるアクセスを、記録された 1 つ以上のファイルタイプのファイルに限定するように形成される、記録するステップと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記アプリケーションをアプリケーションプロセスとして起動するステップと、  
 前記アプリケーションプロセスをアプリケーションコンテナへロードするステップであって、前記アプリケーションコンテナは、前記アプリケーションプロセスによるファイルシステムデータへの直接的なアクセスを拒否する、ステップと、

前記ファイルシステムデータのうちの第 1 のデータに関連するアクセス要求を、前記アプリケーションプロセスから前記ブローカーサービスで受け取るステップと、

前記ブローカーサービスが、前記第 1 のデータのファイルタイプは前記記録された 1 つ以上のファイルタイプに含まれると判断した場合、前記アプリケーションプロセスによる前記第 1 のデータへのアクセスを可能にするステップと

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 1 つ以上のファイルタイプは、1 つ以上のファイル拡張子、ファイルの種類、または、他のファイル属性またはメタデータを含み、前記記録するステップは、

前記ブローカーサービスによってはアクセス可能であるが前記アプリケーションプロセスによってはアクセス可能でないセキュアな場所に、前記アプリケーションのための前記アプリケーションマニフェストにおいて示された、前記１つ以上のファイル拡張子、ファイルの種類、または、他のファイル属性またはメタデータのインジケーションを記憶するステップ

を含む、請求項２に記載の方法。

【請求項４】

前記アプリケーションプロセスをアプリケーションコンテナへロードするステップは、前記アプリケーションコンテナのための識別子を含む前記アプリケーションプロセスのためのトークンを生成するステップであって、前記トークンは、前記アプリケーションプロセスによって変更不可能である、生成するステップ

を含む、請求項３に記載の方法。

【請求項５】

前記ファイルシステムデータのうちの第１のデータに関連するアクセス要求を、前記アプリケーションプロセスから前記ブローカーサービスで受け取るステップは、

前記トークンと前記アクセス要求において要求された前記第１のデータのインジケーションとを前記ブローカーサービスで受け取るステップ

を含む、請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記アプリケーションプロセスによる前記第１のデータへのアクセスを可能にするステップは、

前記ブローカーサービスによって、前記アクセス要求において要求された前記第１のデータのインジケーションに基づいて前記第１のデータのファイルタイプを決定するステップと、

前記ブローカーサービスによって、前記セキュアな場所における前記アプリケーションのための前記記録された１つ以上のファイルタイプにアクセスするステップと、

前記ブローカーサービスによって、前記第１のデータのファイルタイプが前記記録された１つ以上のファイルタイプに含まれるかどうかを判断するステップと、

前記ブローカーサービスによって、前記第１のデータのファイルタイプが前記記録された１つ以上のファイルタイプに含まれると判断された場合に前記アプリケーションプロセスが前記第１のデータにアクセスできるようにするステップと

を含む、請求項５に記載の方法。

【請求項７】

前記アプリケーションプロセスによる前記第１のデータへのアクセスを可能にするステップは、

前記ブローカーサービスによって、前記第１のデータのファイルタイプが前記記録された１つ以上のファイルタイプに含まれないと判断された場合に前記アプリケーションプロセスによる前記第１のデータへのアクセスを拒否するステップ

を含む、請求項６に記載の方法。

【請求項８】

前記拒否するステップは、

前記第１のデータのファイルを読み取ること、前記第１のデータのフォルダのコンテンツを読み取ること、前記第１のデータのファイルまたはフォルダのうちの少なくとも１つに書き込むこと、前記第１のデータのファイルまたはフォルダの名前を変更すること、前記第１のデータのファイルまたはフォルダを移動すること、或いは前記第１のデータのファイルまたはフォルダを上書きコピーすることのための前記アプリケーションプロセスによるアクセスを拒否するステップ

を含む、請求項７に記載の方法。

【請求項９】

コンピューティングデバイスであって、

前記コンピューティングデバイスにインストールされたアプリケーションと、前記アプリケーションに関連づけられたアプリケーションマニフェストと、を記憶したストレージであって、前記アプリケーションマニフェストは、前記アプリケーションがアクセスを許可される１つ以上のファイルタイプを示す、ストレージと、

ブローカーサービスを含み、前記ブローカーサービスによってアクセス可能な場所に前記アプリケーションマニフェストによって示された前記１つ以上のファイルタイプを記録する、処理ロジックであって、前記ブローカーサービスは、前記アプリケーションによるアクセスを、前記記録されたファイルタイプのファイルに限定するように形成されている、処理ロジックと

を備える、コンピューティングデバイス。

【請求項１０】

請求項１乃至８のいずれか一項に記載の方法をコンピューティングデバイスのプロセッサに実行させるコンピュータプログラム。